



# いじめ防止を推進する、生徒同士の語り合い

## ～「いじめはなぜ起こるのか？」～

いじめ防止ラウンドテーブルの後半は、各校3つのグループに分かれ、45分間たっぷり意見交流を行いました。テーマは「いじめはなぜ起こるのか？」です。意見交流では、発言者の声に耳を傾け、うなずきながら話を聴く姿、自分の経験を踏まえながら自分の考えを伝えようとする姿が見られました。時間が進むにつれ、話し合いが盛り上がったり、時には熟考したりしながらも、いじめ防止について真剣に考える姿が、そして、本音で話し合う姿がどのグループでも見られました。生徒たちの本音から語られた言葉には、いじめを止める大きな力があるのではないのでしょうか。



推進校の皆さんは、互いの考えを聞き、刺激を受けたようでした。いじめ防止ラウンドテーブル後も、いじめ防止を推進する取組は、それぞれの学校において継続中です。その後の取組についても、HPにアップしています。ぜひご覧ください。



# いじめ防止ラウンドテーブルに参加した感想



## 田村市立船引中学校

- 湯川中も向陽中も全校レクリエーション大会やいじめ根絶宣言集会など、それぞれの特色に応じて様々ないじめ防止の活動を行っていました。それぞれの学校の活動を参考にして自分たちの活動に取り入れていきたいです。
- 自分の学校以外のでいじめ防止に対する取組を知りました。いじめは起こしてはいけないという意識を船引中学校の生徒一人ひとりにもってもらうだけでなく、相手の気持ちを考えて行動することを大切にするよう全校生に呼びかけていきたいと思ひます。
- グループごとに行った意見交換では、他校の人たちとの仲を少しずつ深めながら話し合うことができました。ここでの「いじめを起こさないためには？」についての意見を、学校内でも共有し広めていきたいです。



## 湯川村立湯川中学校

- 意見交流では、個性とわがままの違いについて話し合いました。「価値観の違い」からいじめが生まれるという意見が出ました。相手のことをよく知ろうとすることが大切ではないかと思ひました。
- 他校のみなさんと話し合いをすることで、自分たちでは出てこなかった提案や考えが出てきました。いじめ防止についての話し合いはとても重要だと思ひました。
- いじめ防止ラウンドテーブルに参加して、いじめの怖さを改めて知ることができました。いじめを防止するためには、様々な考え、出来事を同じ角度から見るだけでなく、違う角度からも見て、理解しようとするのが大切だと思ひました。



## 相馬市立向陽中学校

- 集団で生活している学校では、「違い」が目立つと排除したり他者より優位に立とうとしたりする気持ちから、いじめが起こってしまうことがあるのではないかと思ひました。個性を尊重する観点から、「違い」を排除するのではなく、「いいところ」として認め合える環境や雰囲気づくりを自分の学校で行っていきたく強く思ひました。
- 意見交流では、「価値観の違い」がキーワードになっていました。相手の価値観を知るためにも、相手のことをよく知ることが大切だと思ひました。相手のことをよく知るために行っている全校レクリエーションは、よい取組だと思ひました。
- いじめをなくすには、生徒同士の絆を深めることが大事だと思ひました。そのために、他校の取組を参考にして、学年を問わず交流できる活動を実施していきたいです。



推進校の皆さんの意見や感想から、いじめをなくそうという強い思ひを感じます。  
ラウンドテーブルでの交流をいかし、各校や地域に、皆さんの思ひを発信し続けてください。